

## 第2回SCカフェ 質問レポート

No	質問内容
1	居場所を年間10個つくる、2層協議体の会議を開催するということがノルマとして市から降りてきています。それが自己目的化して、振り回されている人もいます。
2	この研修をぜひ包括にしてもらえたら。
3	選べるサービスが対等にならないことが問題かと思えます。公的なサービスとボランティアでは第一選択肢がサービスになることが多い体感です。それを真に選べるサービスにするにはどうしたらいいのかわかりません。
4	協議体の進め方に疑問を感じます。協議体で会議をしたのですが、社協(第2層)が関わると内容を考えて提示してほしいと任されてしまう。何かをするためには住民の中で連絡調整してくれる人が必要だが、高齢だからできないと引き受ける人がいない。内容を提示するが、核となる人がいないと話が進まない。行政と協力できると前向きな
5	無理やり住民さんの話し合いの場を作る協議体は、必ずしも必要ないのではないか、と思えるようになりました。
6	個別のニーズに対応していくことで、一つずつ地域づくりを行えばいいんだと思いました。
7	「SCの仕事を増やしていくこと」を「社協の仕事が増えてしまう」と上司が捉えているような気がして、個別の地域ニーズに対応したり仕組みを作ったりということにためらいがあります。どうしたらよいでしょうか。
8	2層SCです。包括との連携にも含まれる事かもしれませんが、認知症地域支援推進員と生活支援コーディネーターとの連携はどの様に取り組んでおられますか？
9	ケアマネジャーとの連携は地域課題(要介護高齢者の困りごとを知る上でも)とても大事かと思うのですが、ケアマネジャーから「この困りごとを解決するサービス作ってちょうだい!!」みたいな、住民のできる事・関心があること以上のことを求められて困りませんか？
10	SCは協議体を立ち上げなきゃと言われていますが、皆さんはどうしていますか？
11	意見はいただくのですが、解決に時間がかかる話し合いをすることに理解されないことが多い。また、内容によっては期待をさせてしまうことも多い。結果を求めらる。後方支援をさせてもらおうと話す、丸投げにするのかという意見をいただきます。自分事にとらえてもらうためにはどうしたらいいか？ また、社協が行政だといつも勘違いをされてしまうので、どう説明したらいいか教えてください。
12	私は地域包括支援センターの主任ケアマネジャーですが、ケアマネジャーの傾向として、既にあるサービスを組み合わせて支援するという考えの方が多くに思います。なので、SCさん達の考え方や住民の皆さんの思いへの理解が難しいですね。こういった理解を進める機会はどういったものがあるのでしょうか？ 当市では、SCさんがケアマネジャー連絡会へ事業説明や意見交換に行くようになりました。
13	包括内で連携できるっていうのは素晴らしいですね👏 社協にSC配置となっていますので、包括と密な連携というのは凄くハードル高い気がします、、、
14	制度として、「SCは全員包括と兼務」というふうにしてしまえば、いま議論している包括との連携不足問題は解決するのでは？
15	ケアマネジャーなどに紹介する社会資源って、例えばどんな事でしょうか？私は包括勤務で第2層SCをしています。
16	1人で何地区の担当をお持ちですか？複数の地区を担当していると、1つの地区のことをくまなく調べることが難しく、やりづらさを感じています。
17	生活支援体制整備事業の理解について、SCご自身や自治体からの情報発信(理解してもらうための)は何かされているのでしょうか？
18	ケアマネとどれだけ協議したか、ケアプランにどれだけSCがコミットできたかを、自治体の評価実績にしてもらえたらと思います。
19	1層SCとして業務を行っています。2層SCが住民のため、実質的には1・2層を兼ねている形です。 2名の予算規模ですが兼務で4名を配置し、1人3~4地区、平均約8.5万人の人口規模を担当しています。 協議体の開催に重さが置かれていますので、何度開催したかということが主な業務になっており、地域資源の把握までは手が回らなくなってきています。 資源開発も協議体を通じたものが評価されるという仕組みですので、基本的に個別の相談からの資源開発という流れはありません。  包括が主催する地域包括ケアネットワーク会議との違いを明確にするため、協議体を具体的な支援策等を企画する場と位置づけました。 会議を継続するに当たっては、参加者(もちろん私たちも)の目に見える形で成果があがらないとモチベーションの低下を招くことになることも肌身で感じています。 少しずつ成果も見え始めましたが、達成するたび「できる範囲の」次の課題を見つけないといけない点が徐々にハードルが上がってきました。 どこまで協議体が続いていくのか不安を感じています。 【求められていること】 行政＝協議体の開催 住民＝(参加する上での)成果や楽しみ
20	協議体を開催しても、これまでの取り組みを報告するのみで、話し合いがあまり出来ていません。行政はいろいろな事業を提案してきますが、どれも中途半端になっているため、その課題についてこそ協議すべきではないかと思っています。 協議体を存在意義のあるものにするためには、どのようなことをしたらよいと思いますか？アドバイスを頂けるとありがたいです。
21	4月から生活支援コーディネーターの仕事をさせていただいています。先程、包括内で情報共有してとお話がありましたが、素人の私には専門的な言葉もまだ分からず、包括内で皆さんの話しについていけないため、聞いているだけの状態になっています。何を伝えていけばいいのかわかりません。包括内でどのように話しをしていけばいいですか？
22	個別支援はもちろん大切だと思いますが、専門職(ケアマネジャーなど)の支援に焦点を当てるより、地域の住民同士が支えられる地域や風土を作っていけば、困りごとの解決ができると思い、自治会単位の住民と一緒に困りごとの解決できる繋がりを作っています。
23	包括勤務のSCの皆さんはケアマネジメント業務とSC業務を兼務されていますか？それともSC業務のみをされているのですか？
24	カフェで登壇しているSCさんは包括や社協関係者のSCさんが多いようですが、第2層SCを住民がやっているところもあるのでしょうか。
25	SCとしても包括職員としても長い経験ではありませんが、今まで無意識的に行っていた事を今後も継続していく事で大丈夫なんですね！(サロンや予防教室のお知らせや、新規の地域食堂などの案内)
26	協議体について既存の集まりを位置づける方法があるのは分かりますが、できれば、この事業や目指す姿について、ベクトルを合わせてやっていきたいところかと思えます。協議体構成員への理解してもらうための学習機会や方法ってどうされていますか？さわやか福祉財団さんなど頼る方法もありますが、入れ替わりもありますものね。

27	話し合いを行った後の結果？住民へどのように返していくのか、次の話し合いをどうしていくのか？そもそも次を開催するのか？等もやもやしています。
28	住民さんからは何回集まっても進展がない、等言われることもあります
29	包括で把握した課題をSCが地域に投げかける。必要なことだと思いますが、地域住民にとっては包括(=行政)の一方的な訴えでやらされる感が否めないのではないかと思います。住民が自分事と思って考えてもらうにはどのように働きかけてゆけば良いのでしょうか？
30	市の基幹型包括で第2層SCを専任でしています。 6年目ですが、社協さんとの連携が課題でした。いまは1層SCの職員(市の職員)のおかげでだいぶよくなりましたが、元民間企業出身福祉ド素人の私は鼻であしらわれることもあり。。。 社協さんとの連携の妙案ありませんか？
31	話し合うことのプロセスが大事なんだと思うのですが、うまく形にできないのが日々の悩みです。
32	当市は地域を21に分けて各地域に1名づつ2層のSCを配置していますが、包括や社協の職員ではなく皆住民です。欠員地域は暫定？で市社協職員が対応しています。逆に珍しい自治体なのでしょうか？
33	包括で専任で第2層SCをしています。第1層SCは市社協が行っていますが、何をしているのか全くわからず・・・普通は何をするべき所なんでしょうか？
34	何をどう連携するかや各々の役割とかを明確にして、仕組みとして「連携」を取り入れてみるのはどうですか？定例会ももちろんいいですが先ほど発表にあった地域資源の情報の可視化(例えば冊子にするなど)を協働でやってみるとか。
35	「やらせれ感」を感じさせないように、との思いから住民主体？ともっていこうとの思いが強すぎるのでしょうか・・・社協でコーディネーターをしています。あまりこちらが主導するとお任せ・・・的な雰囲気になってしまうので、その辺がすごく難しいのですが・・・
36	SC5年目です。専任です。そこそこ街中なので、企業訪問は敷居が高いです。どのような手がかりがあるのか模索中。
37	当市も2層SCは住民ワークショップを繰り返しながら住民から生まれるような仕掛けをしています。いない地区は包括のSCが兼務です。